

農 林 水 産 委 員 会

委員一覧（20名）

委員長	堂 故	茂（自民）	岩 井	茂 樹（自民）	小 川	勝 也（立憲）
理 事	上 月	良 祐（自民）	進 藤	金 日 子（自民）	鉢 呂	吉 雄（立憲）
理 事	藤 木	眞 也（自民）	高 野	光 二 郎（自民）	徳 永	エ リ（民主）
理 事	田 名 部	匡 代（民主）	野 村	哲 郎（自民）	森 本	眞 治（民主）
理 事	紙	智 子（共産）	平 野	達 男（自民）	儀 間	光 男（維新）
	磯 崎	陽 輔（自民）	佐 々 木	さ や か（公明）	森	ゆ う こ（希会）
	今 井	絵 理 子（自民）	里 見	隆 治（公明）		（30. 11. 13 現在）

（１）審議概観

第197回国会において、本委員会に付託された法律案は内閣提出２件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願１種類６件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

特定農林水産物等の名称の保護に関する法律の一部を改正する法律案は、経済上の連携に関する日本国と欧州連合（ＥＵ）との間の協定の適確な実施を確保するため、特定農林水産物等に係る地理的表示（ＧＩ）の使用規制を強化する等の措置を講じようとするものである。委員会では、地域ブランドをＧＩ制度で保護する意義、ＧＩについてＥＵと相互に保護することで得られる我が国農林水産物等の輸出における効果、ＧＩの登録及び活用に向けた産地への支援策等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

漁業法等の一部を改正する等の法律案は、適切な資源管理と水産業の成長産業化を両立させるため、資源管理措置並びに漁業の許可及び免許等の漁業生産に関する基本的制度と漁業協同組合制度の一

体的な見直しを行おうとするものである。委員会では、参考人から意見を聴取するとともに、水産資源の評価及び管理の在り方、漁業権免許の優先順位を廃止する理由、海区漁業調整委員会の漁業者委員の任命の在り方等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって可決された。

〔国政調査〕

第196回国会閉会後の８月29日、平成30年７月豪雨による農林水産関係被害の状況等に関する実情調査のため、広島県及び岡山県に委員派遣を行い、11月13日、派遣委員から報告を聴取した。

11月15日、農林水産省における定員削減の状況及び現場への影響、台風第24号の強風や塩害等による農林水産関係被害への対応策、農林水産業に関する国際交渉への大臣の姿勢、新規就農者の経営開始当初の経営面での課題に対する取組、人材不足解消策として外国人労働力を受け入れる前に生産性向上等を追求する必要性、農林水産省が所管する分野における新たな在留資格による受入れ・人材不足の見込み数の妥当性、土地改良予算の確保に向けた大臣の決意、主要農作物種

子法廃止後における地方公共団体の対応状況及び平成31年度の地方交付税措置の見込み、TAC制度による資源管理の効果を疑問視する漁業者の声に対する大臣の所感、持続可能な家族経営を支援して農山漁村を守る重要性の認識、主食用米の需給均衡に向けた実効的な施策の必要性等について質疑を行った。

11月27日、農林水産分野の災害関連等に関する件を議題とし、「重要インフラの緊急点検」における農林水産分野の結果

の概要及び今後の対応方針、平成26年度閣議決定の国土強靱化基本計画に基づく防災・減災対策の効果、農業用ハウスの補強等に対する支援、北海道胆振東部地震で道内全域停電により生じた酪農関連被害への対策、農業共済制度の対象外である収穫後の農産物被害の対策、農業分野の外国人技能実習生の待遇等の実情について農林水産省として把握し改善する必要性等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成30年11月13日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 農林水産に関する調査を行うことを決定した。
- 派遣委員から報告を聴いた。

○平成30年11月15日(木) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 農林水産省における定員管理に関する件、台風、豪雨及び北海道胆振東部地震等による農林水産関係被害への対策に関する件、農林水産分野の貿易等に関する件、担い手の育成・確保に関する件、農林水産分野における外国人材の受入れに関する件、農業農村整備事業に関する件、主要農作物種子法の廃止に関する件、水産資源管理に関する件等について吉川農林水産大臣、高鳥農林水産副大臣、鈴木総務副大臣、原田防衛副大臣、高野農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

上月良祐君(自民)、佐々木さやか君(公明)、里見隆治君(公明)、小川勝也君(立憲)、田名部匡代君(民主)、徳永エリ君(民主)、紙智子君(共産)、儀間光男君(維新)、森ゆうこ君(希会)

○平成30年11月27日(火) (第3回)

- 理事の補欠選任を行った。

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 農林水産分野の災害関連等に関する件について吉川農林水産大臣、高鳥農林水産副大臣、中根内閣府副大臣、あべ外務副大臣、高野農林水産大臣政務官、山田外務大臣政務官、門山法務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

藤木眞也君(自民)、里見隆治君(公明)、儀間光男君(維新)、小川勝也君(立憲)、藤田幸久君(民主)、紙智子君(共産)、森ゆうこ君(希会)

- 特定農林水産物等の名称の保護に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第9号)(衆議院送付)について吉川農林水産大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成30年11月29日(木) (第4回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 特定農林水産物等の名称の保護に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第9号)(衆議院送付)について吉川農林水産大臣、高野農林水産大臣政務官、門山法務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

里見隆治君(公明)、鉢呂吉雄君(立憲)、田名部匡代君(民主)、紙智子君(共産)、

儀間光男君（維新）、森ゆうこ君（希会）
（閣法第9号）

賛成会派 自民、公明、立憲、民主、共産、
維新、希会

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○平成30年12月4日（火）（第5回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○漁業法等の一部を改正する等の法律案（閣法第8号）（衆議院送付）について吉川農林水産大臣から趣旨説明を聴いた後、同大臣、高島農林水産副大臣、田中内閣府副大臣、高野農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

平野達男君（自民）、進藤金日子君（自民）、
里見隆治君（公明）、小川勝也君（立憲）、
徳永エリ君（民主）、田名部匡代君（民主）、
紙智子君（共産）、儀間光男君（維新）、森
ゆうこ君（希会）

また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○平成30年12月6日（木）（第6回）

○漁業法等の一部を改正する等の法律案（閣法第8号）（衆議院送付）について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

全国漁業協同組合連合会代表理事会長 岸
宏君

公選 宮城海区漁業調整委員 赤間廣志君
香川海区漁業調整委員会会長 濱本俊策君

〔質疑者〕

山田俊男君（自民）、佐々木さやか君（公明）、
鉢呂吉雄君（立憲）、徳永エリ君（民主）、
紙智子君（共産）、儀間光男君（維新）、森
ゆうこ君（希会）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○漁業法等の一部を改正する等の法律案（閣法第8号）（衆議院送付）について吉川農林水産大臣、大塚国土交通副大臣、原田防衛副大臣、門山法務大臣政務官及び政府参考人に対

し質疑を行った。

〔質疑者〕

鉢呂吉雄君（立憲）、小川勝也君（立憲）、
藤田幸久君（民主）、紙智子君（共産）、儀
間光男君（維新）、森ゆうこ君（希会）

○平成30年12月7日（金）（第7回）

○漁業法等の一部を改正する等の法律案（閣法第8号）（衆議院送付）について討論の後、可決した。

（閣法第8号）

賛成会派 自民、公明、維新

反対会派 立憲、民主、共産、希会

○平成30年12月10日（月）（第8回）

○請願第208号外5件を審査した。

○農林水産に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

○閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

○平成30年8月29日（水）

○平成30年7月豪雨による農林水産関係被害の状況等に関する実情調査

〔派遣地〕

広島県及び岡山県

〔派遣委員〕

岩井茂樹君（自民）、中泉松司君（自民）、
舞立昇治君（自民）、田名部匡代君（民主）、
紙智子君（共産）、進藤金日子君（自民）、
野村哲郎君（自民）、平野達男君（自民）、
山田俊男君（自民）、横山信一君（公明）、
徳永エリ君（民主）、小川勝也君（立憲）、
川田龍平君（立憲）、儀間光男君（維新）、
森ゆうこ君（希会）